

パブリックインボルブメント(PI)は、市民や関係者の皆さんとコミュニケーションを図りながら計画の検討を進める取り組みです。

もつとご意見
待ってるよ~!



見え始めた地域づくりの目標

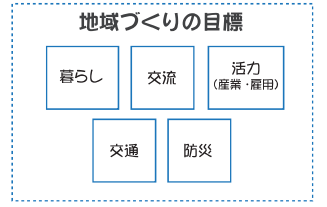
～暮らし、交流、活力、交通、防災の観点から～

これまで実施したオープンハウスや車座談議では、貴重なご意見をお寄せ頂きありがとうございました。鉄道高架事業をはじめ、沼津駅周辺総合整備事業や貨物駅の移転について多様なご意見をお聴きすることができました。
頂いたご意見から、沼津駅周辺の活性化や原地区における地域づくりなど、皆さんが考える地域への期待や懸念が少しずつ見えてきました。

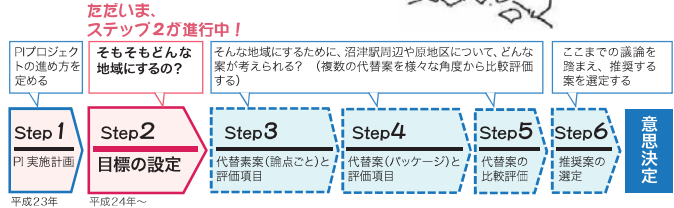
今号では、これまでに頂いたご意見から、地域の将来像や地域づくりの課題を読み解いた「地域づくりの目標」に関する整理の途中結果をお知らせします。
今後は、この内容について、皆さんのご意見や勉強会での議論を通じ、「地域づくりの目標」としてさらに具体化していきます。皆さんから、ますますのご意見をお待ちしております。

2~4ページ
を見てね!

ご意見から見えてきた「地域づくりの目標」を整理しています



これまで頂いたご意見を「どのような地域を目指すのか」という視点で読み解き、地域づくりの目標として整理を進めています。



2ページからの「地域づくりの目標の整理」をご覧になって、「他にもこんな視点があるのでは?」「こんな地域になって、あんなことができたらいな!」といった具体的なイメージを教えてください!

PI活動報告

オープンハウス たくさんの方が足を止めてくださいました!

市内の各所で、パネル展示と職員による説明、アンケートを実施しています。地域の課題やプロジェクトの進め方等について、皆さんの生の声をお聞きしています!

開催場所 9箇所、アンケート回収数約 850件

車座談議 様々な団体の皆さんから関心事をお聞きしています!

様々な団体の皆さんと、地域の課題や将来像について意見交換を行っています。

開催回数 29回、延べ参加人数約 260人

事業者ヒアリング 事業者の視点からも地域の課題を把握します!

これまでに、鉄道、運輸、商業、交通など 11 団体にご意見をお伺いしました。

勉強会

今月から勉強会が始まります。
1月12日 沼津駅周辺地区での勉強会

今後の予定

オープンハウスを開催します 1月21日、22日 10:00～20:00
イシバシプラザ地下1F イベントスペース

地区レベル(原地区)について

1. 静かで自然豊かな暮らしを(暮らし)

- 1-1 のんびりと暮らせる静かな住環境を
 - ・静かで自然豊かな住環境の中で、のんびりと暮らせる。
 - ・乱開発から地域の大切な景観や生態系が守られる。
 - ・地域のコミュニティの良さが引き継がれる。
 - ・自然環境を守ることが、観光資源を活かすことにもつながる。
- 1-2 地域への愛着と誇りを大切にしたい
 - ・古くからの由緒ある歴史的資源や、富士山や松原のすばらしい景観に恵まれたこの地域に、愛着と誇りを持って生活できる。
- 1-3 誰もが安心して暮らせる街に
 - ・地域の中で高齢者だけでなく若者や子どもも住まうとともに、健康や医療が充実し、どの世代も安心して暮らせる。
- 1-4 将来を見据え計画的に
 - ・浮島地区も含めた広がりのあるランドデザインのもとで、地域のことを考えたい。
 - ・計画的にコンパクトな市街地が形成されることで、これ以上無秩序な開発が広がることなく、街路や下水などの新たなコストが抑えられる。

2. 人が集まる魅力ある地域に(交流)

- 2-1 豊かな地域資源を活かして
 - ・納園や寺や庭などの固有の歴史・文化資源、豊かな自然環境、富士山や松原の景観などの魅力を知ってもらい、多くの人に訪れてもらえる。
 - ・富士山に因んだ施設(例えば富士山世界遺産センター)を誘致するなど、富士山を臨む土地の特質を活かして、多くの人に訪れてもらえる。
- 2-2 広域から人を呼び込む
 - ・交通アクセスを活かして、広域から多くの人に来てもらえる。
- 2-3 賑わいを生む仕掛けを
 - ・健康や文化に関わる施設(健康文化タウンなど)や、文化施設や教育施設などの人が集まる施設を中心に賑わう。
 - ・地域の農産物など特産品を目標に多くの人が集まる。

4. 広域も南北も移動しやすく(交通)

- 4-1 広域からのアクセスのよい地域に
 - ・新東名サービスエリアやスマートインターチェンジ、東駿河湾環状道路とのアクセスがよくなる。
- 4-2 地域内を安全で快適に移動したい
 - ・南北方向など必要な道路が整備され、自動車も歩行者も、地区内を安全で便利に移動できる。
 - ・踏切での遮断が心配。
 - ・原駅では線路を挟んで歩行者が楽に移動できる。
- 4-3 公共交通が便利に使える
 - ・車がなくても便利に地域を移動できる公共交通網がある。

5. 水害にも津波にも強い地域に(防災)

- 5-1 災害リスクに備えたい
 - ・治水対策が施され、水害の心配なく安心して暮らせる。
 - ・地震や津波、液状化への対策がなされ、安心できる。
- 5-2 いざ災害が起きたら避難できる
 - ・津波など大規模災害時の避難路や避難場所が確保されて安心できる。
- 5-3 安心・安全で選ばれる地域に
 - ・減災対策や避難対策がなされ、安心して暮らし、また、働き続けられる。
 - ・観光や仕事でも安心して訪れることができ、移住したい地域としても認識される。

これらの他に地域づくりの目標とすべきことはありませんか?
あなたのご意見をお聴かせください!

- 寄せられたご意見は・・・
 - ・ホームページで公表します。
 - ・「意見まとめくステップ2最終報告」として発行します。
 - ・ステップ2(目標の設定)の判断材料とします。

■ ご意見・お問い合わせは 沼津高架 PI プロジェクト・PI 運営事務局まで ■

沼津高架 PI

- 郵送 〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1番3号 静岡県沼津土木事務所 都市計画課内 PI運営事務局
- FAX 055-926-5527
- メール numazu-pi@pref.shizuoka.lg.jp

URL : <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/index.html>
TEL : 055-920-2222

情報をお知らせしています。

編集後記：本年もよろしくお願ひします。今年の干支・巳年は、植物の種が大きくなって育っていく時期と言われているとか。発行：沼津高架 PI プロジェクト・PI 運営事務局 沼津高架 PI プロジェクトでの議論も活発に進めていきたいですね。

広域レベルについて

1. 広域的な中心に（拠点）

● 1-1 広域的な拠点地域に

- ・県東部の拠点として、県東部地域に人口や産業が集積している。
- ・広域的な拠点地域であることで、多様な活用機会がある。
- ・都市的な利便性や医療などのサービスを十分に享受できる。

● 1-2 地域でうまく連携して

- ・県東部地域の都市が連携しながら、相互に必要な機能や役割を補完できる。
- ・東部地域全体としての個性を引き立てながら、東部地域全体が広域的な拠点として持続的に発展できるようになる。

3. 何もせずに過ごすのは問題（戦略）

● 3-1 早く結論を

- ・地域の抜本的な都市整備について、いつまでも結論が出ない状況が続くと、民間投資が逃げ地域経済が衰退を招きかねない。
- ・どのような対策を行うのか、早く結論を出して先に進める。

● 3-2 すぐに効果が現れる対策を

- ・商業活性化や交通面の対策など、手遅れになってしまうよう、早急に結果が現れる対策を取って、いち早く衰退の流れを止める。

● 3-3 長期的視点から抜本的な対策を

- ・その場限りの対症療法的な対策に終始するのではなく、時間がかかっても長期的な視点からの抜本的な地域づくりに腰を据えて取り組む。

● 3-4 効果的で戦略的な投資を

- ・やみくもに単発的な対策を打つのではなく、長期的で総合的なビジョンのもと、戦略的な地域づくりを進める。
- ・インフラの整備に伴う波及的な効果をうまく活かして、公共や民間の投資が無駄なく効果的に行える。

● 3-5 市民と民間と行政が協力して

- ・行政が責任を持って意思決定する。
- ・市民や民間とうまく協力し合って地域づくりを進めていく。

2. 交流拠点として賑わう（交流）

● 2-1 交通の要衝として

- ・伊豆箱根地域との分岐合流点として、また、交通の要衝としての特徴を活かす。
- ・今後、首都圏、中部圏、甲信地方のみならず、国内外地域との広域的な結節性が高まり、富士山、箱根、伊豆地域などへの周遊観光の拠点（ハブ）として賑わう。

● 2-2 モノの交流拠点として

- ・モノの流動においても、首都圏、中部圏のみならず、伊豆、岳南、甲信地方など、多方面に対しての拠点性が活かされる。
- ・拠点性を求めて多くの企業が立地し、税収や雇用、賑わいが生み出される。

● 2-3 災害時の代替機能や復旧・復興の拠点として

- ・多方面にアクセス軸を持つことを活かし、今後予想される首都圏や東海・東南海地域での大規模地震においても、救援物資・復旧物資のライフラインを提供できる。
- ・復興過程においても、代替的にサプライチェーンを提供できる。

4. 税金は効果的に使ってほしい（財政と事業効果）

● 4-1 沼津市財政に無理がないように

- ・今後の地域づくりが沼津市の財政に大きな負担となり、他の政策に財源が回らなくなるなどの無理が生じない。

● 4-2 大きな費用に見合った対策を

- ・地域づくりのための大きな投資は、その波及効果も含めた便益が総体的にどのくらいの広がりを持ち、費用負担に見合うだけの投資なのかを十分に吟味する。
- ・その説明についてもきちんと納得できる。

進め方について

1. PIの目的を明確に（PIの目的）

- ・何のためのPIなのかを明確に。
- ・これまで積み重ねてきた経緯を尊重して。

3. 公正で着実な議論を（検討プロセス）

- ・議論の前提やポイントを明確に。
- ・「どんな地域にしたいか」から議論を。
- ・議論が長引くことが心配。
- ・透明・公正に進めて。
- ・事業の目的やねらいを分かりやすく正確に情報提供を。

2. 解決に向けて（対話の効果）

- ・様々な立場の人の意見を聞いたり、集まって話し合うことは有意義だ。
- ・地域を二分してしまうことが心配。

4. 幅広く意見を聴いて（検討体制）

- ・PI委員会は、活発な議論を通じてPIの進め方を監視して。
- ・ファシリテーターには、公正で中立的な立場から多くの人の意見を吸い上げてほしい。
- ・幅広い市民や企業からの意見を聴いて。

どのような地域になるとよいですか？

地区レベル（沼津駅周辺地区）について

1. 誰もが暮らしやすく（暮らし）

● 1-1 誰もが支えあえる街に

- ・地域コミュニティが充実し、子供から子育て世代から高齢者までの様々な世代が集まって暮らし、様々な場面で相互に支えあいながら暮らせる。

● 1-2 生活に必要な施設が揃い便利な暮らしを

- ・生活に必要な様々な施設（百貨店、専門店、医療施設、教育施設、文化施設、その他サービス施設など）が身近な地域に集積している。
- ・車がなくても便利で無駄がなく、歩いて暮らせる。

● 1-3 魅力のある都市空間に

- ・街の中に水辺や緑があるれ、日々暮らしに潤いを。
- ・昔からあった地域固有の風景や資源（沼津港や狩野川沿い、昔からの街並みなど）が地域や歴史を感じられる場として大切にされる。
- ・生活者にとっても、来訪者にとってもうまい憩いがある。
- ・魅力的な都市空間が沼津の街の特徴として認識され、生まれ育った者として誇りに思える。

3. 持続的な経済活動と雇用機会（産業・雇用）

● 3-1 新たな産業とビジネスを

- ・医療や健康関連産業をはじめとして、新たな時代に対応した多様な企業が集積し、地域に賑わいが生まれる。

● 3-2 商売をしなくなる街に

- ・多くの人住まい、また、従業者や来訪者が継続的に集まることで、持続的に商売が成り立つ環境がつけられ、商業活動が活性化するとともに、新たな投資も進み、地域経済に好循環が生まれる。

● 3-3 産業が集積し雇用を生み出す

- ・これからの時代の新たな産業が立地する。
- ・多様な企業が集積する。
- ・地域に持続的に雇用が生み出される。

5. 地震や津波にも強い（防災）

● 5-1 災害リスクに備えたい

- ・地震・津波等が発生した際の災害リスク（津波、津波による川の氾濫、液状化、建物の倒壊等）、その他の大規模自然災害に対して、命を守る。

● 5-2 いざ災害が起きたら避難できる

- ・地震や津波の際の避難が確実に行なえる。
- ・災害時に南側から北側にスムーズに避難できる。

● 5-3 安心・安全で選ばれる地域に

- ・減災対策や避難対策がなされ、安心して暮らし働き続けられる地域として認識され、企業にも選ばれる。

2. 多くの人が集う街に（交流）

● 2-1 広域から人が集まる街に

- ・周辺都市と役割を連携して、相互に行き来がある。
- ・広域から幅広い世代が集まり、活気にあふれ、賑わいがある。
- ・広域から人が集まることで、東部地域全体の発展にも貢献する。

● 2-2 かつての賑わいを

- ・街なかの住民だけでなく、周辺都市や近郊地域から買い物客や来訪者が集まる。
- ・商店街が賑わっている。
- ・その賑わいに惹かれて、さらなる人やビジネスが集まり、一層の賑わいが生まれる。

● 2-3 観光・食のポテンシャルを活かして

- ・富士山や伊豆地域など、周辺観光地に広く国内外から集まる観光客が、沼津の街にある地元資源（沼津港や狩野川沿い、古からの街並み、海の幸などの食等）に惹かれ、周遊観光の拠点（ハブ）に集まってくる。
- ・温暖な気候や歴史・文化資源、自然環境や豊かな農海産物など、地域の良さを国内外の多くの人が知り、観光やビジネス、また、保養や療養に訪れ、そして移住してくる。

4. 外も中も移動しやすい（交通）

● 4-1 広域からのアクセスのよい地域に

- ・新東名高速道路など広域的な道路網との結節性が高まり、首都圏、中部圏、甲信地方から沼津駅周辺や沼津港へのアクセス性が高まる。
- ・多方面からのアクセス性を活かして、沼津で滞在する人が増える。

● 4-2 駅周辺の自動車交通をスムーズに安全に

- ・沼津駅南北交通に起因する渋滞が解消される。
- ・駅周辺の自動車交通の循環やアクセスが改善される。
- ・大型車両や緊急車両の通行に支障がない。
- ・大雨などの気象条件で、通行が妨げられることがない。
- ・南北方向の通行に支障がない。

● 4-3 街なかを歩いて楽しい

- ・駅の南北を安全で快適に歩いて移動できる。
- ・街の中の緑や水辺、小径や広場などを経由しながら、楽しく散歩できる。
- ・高齢者、妊婦、乳幼児、車イス利用者も南北の往来がしやすい。
- ・誰もがゆったりと回遊でき、歩いて暮らせる。
- ・街中の建物の老朽化や災害時の延焼などの被害が心配。

● 4-4 自転車で快適に移動できる

- ・自転車で、駅周辺の要所を快適で安全に素早く移動できる。
- ・自転車で気軽に来られて、気持ちよく走れる。
- ・居住者だけでなく、観光客も自転車で周遊できる。

● 4-5 公共交通が便利に使える

- ・生活者や従業者や来訪者のちょっとした移動に、時間に正確で便利に使える公共交通網がある。

これらの他に地域づくりの目標とすべきことはありませんか？

あなたのご意見をお聴かせください！